

(参考) 箕面公園の植生リスト

場 所	植 生	観察に適した時期			観察のポイント等 (一例です) * 季節に応じて各自で・
		5月	9月	11月	
駅南広場	(街路樹)				時間調整用、樟、半纏木など
商店街	ケヤキ	○		◎	2段に開葉。果実は小枝ごと落ちる。
	レッドロビン	◎			芽吹き、新葉の赤いのは?
	カラムシ	○	○	○	繊維をとる目的で移入、フラスズメの食草
	クサギ	○		○	名の由来、山菜、花・果実
	キンモクセイ		◎		涼しさを感じて開花、雄木のみ移入
	オオモミジ	○	△	○	葉の形状、翼果、紅葉の仕方、
	イロハモミジ	○	△	○	上記と比較、
	ツタ		△	◎	紅葉、落葉(離層の位置)、
スパ・ガーデン 入り口 少し上流	箕面市の保存木	◎	○	○	保存木とは、巨木の定義
	ケヤキ				名の由来、果実
	センダン	◎	○	◎	果実、葉は自然のサンドペーパー。
	ムクノキ	△	○	◎	公害に強い、葉脈、果実
	トウネズミモチ	△	○	◎	名の由来、平和のシンボルツリー
	アオギリ	○	○	○	アイビー、グランドカバー、常緑、菱形~3分裂(先丸い)
笹川像付近	キツタ(フユツタ)			○	パイオニアプラント、順次開葉、
一の橋付近	アカメガシワ	○	○	○	花期は秋、11月ごろ見られる
	ビワ	△		◎	古くから生活に利用、
	ワジュロ	○			一両、花と果実、細い棘
	アリドオシ	◎	○	○	
聖天橋付近	(イズセンリョウ)	△		△	
	ミツマタ	○			紙の原料、分岐
	ジンチョウゲ	○			花は花卉なく萼筒、千里香
	タラノキ	○	○	○	大きな羽状複葉、棘は
登り坂	ハウチワカエデ	○	○	◎	天狗のうちわ?
	ウツギ	◎	△	△	空木、卵の花
	コマツナギ		◎		駒を繋げる?
	コウヤボウキ	○	○	◎	一年枝、2年枝の葉序は・
	ナンテン	◎			3回羽状複葉
	ツブラジイ	○		◎	箕面の谷斜面の極相林。
	カナメモチ		○	◎	モチノキ科でなくバラ科(違いは)
西江寺裏	リョウブ	○	○	○	救荒植物・花期遅い、果実翌年まで残
	ウラジロノキ	○	○	△	新緑時葉裏白い・
	(オガタモノキ)	△	○	○	名は果実の形に由来・
	モチツツジ	◎		○	半落葉樹、秋に開花も
西江寺裏道	ヤマモモ(保存木)	△	△	△	雄木
	モミ(保存木)	△	△	△	枝にマツグミ半寄生
登山道	植生全般	○	○	○	元はアカマツ・ツツジ・コシダ群落
	トウカエデ			◎	紅葉、過っては街路樹に多かった。
	コバノミツバツツジ	◎	△	△	近畿の代表的なミツバツツジ。六甲に多い
	ネジキ	◎	○	○	木肌、花の形、果実の向き
	シャシャンボ	△	◎	○	果実食べられる
	クスノキ	△	△	△	葉のにおい、ヤブニッケイとの差
	ソヨゴ	○	○	◎	雌雄異株(花)、果(花)柄が長い
	クリ		○		クリタマバチの虫えい
	ヤマハゼ		○	◎	葉の両面に毛、紅葉の様子
登山道	アベマキ	○	○	○	下記と葉の比較
	クヌギ	○	○	○	2年生のドングリ
	ハゼノキ		◎	◎	紅葉の様子
	カナメモチ	◎		◎	花・果実

場 所	植 生	観察に適した時期			観察のポイント等（一例です） * 季節に応じて各自で・・・
		5月	9月	11月	
聖天展望台 (観鳥台)	向かいの山	○	○	○	尾根筋、谷の極相林
	マルバアオダモ	○	○	○	翼果、早くから冬芽が見られる
	リョウブ	○	○	○	鹿の食害が多い
	カゴノキ	○	○	○	樹皮の模様、果実
	エビヅル			○	山ブドウの仲間、紅葉
	ネムノキ		○		芽吹き遅い、羽状複葉
	クララ	△	△		花6月 有毒
	クリ		△		
昆虫館までの の河岸道 (売店) 昆虫館横	マンリョウ			○	下向きに果実、センリョウは上向き
	ヒメコウゾ	○	○	○	異形葉、クワ科の特徴、
	カラスザンショウ	○	○	○	幼木ほど棘多い、クロアゲハ等の食草
	シホウチク	○	○	○	筒の形状、タケノコは秋、
	ヒメイタビ	△	△	△	クワ科、葉柄をちぎると乳液がでる。
	カギカズラ	○	○	○	鉤をひかっけて樹冠に。カズラ = つる
	ホンバタバ	○	○	◎	冬芽は頂芽のみ、分岐に特徴。
	ヤブムラサキ	○	○	◎	ムラサキシキブとの差、葉、果実
	ヤマハゼ		△	△	下記と小葉の付き方比較
	ヤマウルシ		△	△	上記と小葉の形、葉の付き方比較
	リンボク		◎	○	花期は初秋、
	ジャケツイバラ	○	○	○	鋭い棘をもつ、2回羽状複葉のツル性。
	(カナメモチ)			△	対岸に群落、秋果実。
	アジサイ	△			真の花は
	カクレミノ	○	○	○	異形葉、
	シデコブシ	△			植栽、花時以外の判別難しい。
	クロガネモチ		○	◎	雌雄異株、雌株
	トウモクレン	◎			モクレン（紫木蓮）との違いは・・・
	ノムラカエデ	○		○	葉にアントシアンを持つ、
ラカンマキ	○	○	○	イヌマキに比べ葉が細く小さい	
滝安寺 弁天堂境内 (昼食場所) (山側・・・)	キハダ			○	ミカン科、薬用植物、
	カゴノキ	○	○	○	成木の木肌
	イヌマキ	○	○	○	マキ科
	(オオモミジ)			○	紅葉種と黄葉種の両方あり
	ヒマラヤスギ	△			スギ（ヒノキ科）にあらず
	オガタモノキ	○	◎	○	果実の形、葉
	ゲッケイジュ	○	○	○	雌雄異株、花期は早春、ローリエ
	ボダイジュ	○	○	◎	花、果実、ヘラ型の苞につく
	シキミ			△	有毒、
	ニワトコ	○			展葉の時期が早い
(スギ、ヒノキ)	△	△	△		
(境内裏山)	ツブラジイの林	△	△	△	極相林の姿、
	モミの大木	△	△	△	枝にマツグミが半寄生
橋	トウネズミモチ	○	○	◎	公害に強い樹、
	ヤブニッケイ	○	○	○	葉に虫こぶ、ニッケイハミヤクイボフシ
	(エドヒガン)				
左岸道	ウツギ	◎		△	ウツギ類はアジサイ科に、
	(ドイツトウヒ)	△	△	△	欧州原産、若木は枝が斜上
	ツルアリドオシ			◎	ペアーの2花から果実は1個に
	イズセンリョウ	○	○	○	果実、ヤブコウジと同じサクラソウ科
	シラキ	○	○	○	木肌、果実
	ヤマコウバシ	○	○	◎	冬季に枯葉を残す。雌株のみで結実。

場 所	植 生	観察に適した時期			観察のポイント等（一例です） * 季節に応じて各自で・・・
		5月	9月	11月	
左岸道	サネカツラ			○	特徴ある果実
	チャノキ	△	△	◎	花、葉脈に特徴
	カラスザンショウ	△	△	△	クロアゲハ等の食草
	ヤブニッケイ	△	△	△	上述、2年枝にも葉を残す
	サザンカ		△	◎	箕面の谷に多い、植栽か？
	キブシ	○		○	果実、秋には冬芽（花穂）
姫 岩	ケケンボナシ	△		○	果軸、
	コアジサイ	◎	○	○	開花期の早いヤマアジサイ、装飾花なし
	ウツギ	○	△	△	卵の花、におう垣根・・・”におう”とは
	コバノキ	◎	○	○	小枝か羽状複葉か？
	ヤブムラサキ	○	○	○	葉、果実（対比 ムラサキシキブ）
つるしま橋	イヌガシ	△		△	葉に三行脈
	ムクノキ	○	○	○	「タテムク」とは
	サルナシ			○	キウイの原種？
	(アマヅル)			○	サンカクズルとの違いは？
	カゴノキの若木	○	○	○	木肌
修業古場	アカシデ	○	○	○	木肌、紅葉
	タマミズキ		△	◎	落葉の後の果実
	モミ（大木）	○	○	○	箕面の森の極相林・構成種のなごり
右岸滝道	クマノミズキ	○	○	○	葉の付き方、赤い果柄
	ウラジロウツギ	○			花期はウツギより早い、谷道に多い
落合橋	イタビカズラ	△	△	△	
	ナナミノキ	△	△	△	葉
(トンネル)	ネズミモチ	○	○	◎	トウネズミモチとの差、果実、葉
	コツクパネウツギ	◎	○		花は春、萼が残る
	コウヤボウキ	○	○	◎	1年枝、2年枝の葉序、花は1年枝の先。
	コアジサイ	◎		○	
	ナガバモミジイチゴ	○			キイチゴの代表種、果実は黄熟
復習の道 弁天堂	リンボク	△	△	△	葉、誰の子、
	ツガ	△	△	△	極相林のなごり？

*観察月の推奨樹木についてはこの表に捕らわれず選定下さい。観察会の主題を決めてメリハリを。
右の覧は今回の観察会とは無関係。実施月に応じてワンポイント指針を決めて下さい。

*釈迦に説法ですが、観察とは「物事の真の姿を間違いなく理解しようとよく見る（by広辞苑）」ことです。
「自然観察」とは、植物や動物の生き様そのものの中にある面白いことを、よく見て楽しむことでしょう。生物は人類より長い進化の歴史の中で、エサを捕まえる方法、敵から身を守る手段、そして子孫を残すためのしくみなど、それぞれの生存戦略を発達させてきました。生存戦略はその生物の色や形、行動などに現れています。それらをひとつひとつ見ていくだけで興味深く、感心することでしょう。たとえば、花が昆虫を呼ぶしくみなどは、手軽に観察できてしかも興味深い戦略の代表でしょう。植物にも動物にも良く見ると、目を見張るような不思議があります。その「不思議」を感じ、（生き様を）考えることこそが真の観察の意義でしょう。

ややもすると、「植物の種名を覚える？」ことが観察会の目的になりがちです。種名不要とは言いませんが、原点に戻って「箕面の森」の季節の営みを楽しむ観察会になることを切望します。